

子どもの社会参画プロジェクト

瀧口 優・本山 方子・安倍 大輔・佐久間 路子
土川 洋子・庭野 晃子・山本 由紀子・井原 哲人

事業目的と研究・活動実績の概要

「子どもの社会参画プロジェクト」は子ども学研究所の設立に伴い、地域交流部門の柱の1つとして立ち上げたものである。大きく2つに分かれ、1つが「子ども白書」の作成であり、もう一つが「子どもサミット」の実施である。2020年度についてはコロナ禍のために当初の目標を達成することはできなかったが、以下その経過と課題である。

(1) 「子ども白書」について

2019年度実施した「小平市小学校調査」「小平市中学校調査」は、その後の「小平市子どもサミット」へとつながり、小平市長あてに「報告書」を提出した。2020年度はこうした調査を通して見えてきた、小平市内で学ぶ子どもたちの様子を整理し、その他のデータを加えて白書をつくることであった。

しかし2020年2月に始まった新型コロナウイルス禍は1年を超える影響を与えることとなり、本プロジェクトにおいても大規模な活動などはできないまま推移した。

一方で、小平市に提出した報告書は子ども目線で様々な要求が出されており、多くの小学生や中学生に伝える必要があると判断した。そこで「子ども白書」というタイトルではなく「小平子どもレポート」としてまとめることになり、1年間取り組んできた。年度を超えてしまったが、小平市内全ての小学校5・6年生並びにすべての中学校生に配布するという手配された。今後は子どもたちの声などを聞いて「子ども白書」へとつなげていくことになる。

(2) 「子どもサミット」

2019年度実施した子どもサミットを踏まえて、2020年度は小平市の長期総合計画のパブリックコメントに合わせてサミットを開催する予定であった。しかしコロナ禍によりサミットの実施が不可能となり、直接声を聞くことはできなかった。また2021年度もコロナ禍が収まる気配が見えず、2022年度まで延期せざるを得ないと思われる。

次年度に向けて

「子どもの社会参画プロジェクト」は、子ども学部を擁し、子ども学研究所を運営している白梅学園大学・短期大学にとっては非常に重要な意味を持ったプロジェクトである。とりわけ「子どもの権利条約」において、子どもの社会参画が基本的な内容として位置付けている中では、継続して追及されるべきものである。

別表

プロジェクト会議日等(2020年4月～2021年7月)

活動日時	内容
2020年10月22日(木)	第1回プロジェクト会議
2020年11月26日(木)	第2回プロジェクト会議
2020年12月26日(木)	第3回プロジェクト会議
2021年1月21日(木)	第4回プロジェクト会議
2021年2月28日(木)	第5回プロジェクト会議
2021年7月8日(木)	「小平子どもレポート」 小平市内小学5～6年生、中学生へ配布(約8000部)